



令和3年5月17日

## 「ダイバーシティ推進WT（外国人材の活用）第4回会合」を開催

（一社）日本物流団体連合会（渡邊健二会長）は、5月13日（木）、第4回ダイバーシティ推進ワーキングチーム（以下、WT）会合を都内の全日通霞が関ビル会議室において開催した。

このテーマ最終回となる会合には、オンラインを含む13名が参加、国土交通省総合政策局物流政策課課長補佐 福田ゆきの氏より次期物流大綱に関する有識者検討会提言の概要について本テーマに関わる部分を中心に説明があり、活発な質疑が行われたほか、事務局が示したWT活動報告書案についてメンバーより了承された。

次期物流大綱に関しては、有識者検討会において、少子高齢化に伴う担い手不足の状況も踏まえ「女性、高齢者および外国人材を含む多様な人材の活用が求められている」「運転技術教育、荷扱いスキル教育、運行管理システムの教育など標準的な教育項目を策定すべき」との意見が上がった一方、外国人材の活用を否定するわけではないが、技能性やコロナ禍を含めた安定的な雇用確保の観点から、技能実習制度自体がそぐわないのではないかと懸念も一部の委員から示されたこと、こうした議論を経て、最終的には「物流業界におけるダイバーシティの確保等の観点も踏まえ、トラックドライバー等への外国人の活用についても今後議論を進めていくほか、空港における航空貨物取扱業務への特定技能外国人の活用について推進する」との文言が提言に盛り込まれたことが紹介された。

WT活動報告書では、①外国人材の就労に係る制度の概要、②直近の統計データ、③メンバーによる事例紹介等について整理し、結びとして「本WTにおける外国人材の活用に関する検討は一旦終了するが、今後とも、この問題に関する国の動きや他業界の対応等に係る情勢の把握と情報共有等を継続し、会員団体・企業の意向等を踏まえて適切に対応していくことが望ましい」としている。

WT活動報告書については、外国人材活用を検討する物流事業者への参考とするため、物流連ホームページ上で公開している。

なお、ダイバーシティ推進WTは、今後、女性活躍推進を新たなテーマとしてメンバー招集を行い、今夏にも初会合の開催を予定する。

WT活動報告書リンク先はこちら <https://www.butsuryu.or.jp/material>

以上  
事務局 小野



会合風景(対面&オンライン)



説明をする福田様(左)